

「春のつくばりんりんロードと筑波山」活動報告

2017年5月12日

企画幹事：小松 誠一

実施日時：平成29年5月11日（木）

参加者：6名

【敬称略】L/小松・武田・安達・吉澤・小宮・伊藤

風薫る5月11日（木）、午前9時、常磐線土浦駅、つくばりんりんロードサイクリングの参加者6名が集合した。小宮さん、吉澤さんの女性2名と、安達さん、初参加の伊藤さん、武田総務幹事、と小松の男性4名。予定コースは「土浦」から「筑波山口」までの約20km、廃線になった関東鉄道筑波線の跡を利用したサイクリングコースは平坦で走りやすい。

土浦市運営のレンタサイクルで9時半スタート。一般道を少し進むとりんりんロード入口が見えて来た。水色に塗られた道はいかにも自転車専用道路と言った感じである。

レンタサイクルにも慣れてきて快調に進む。何と云っても、この日は天気が最高であった、気温はほどよく、自転車の大敵”風”は穏やか。最初の休憩所は「虫掛休憩所」で、元は駅、ホームがまだ残っていて藤の花がきれいに咲いていた。

周りはレンコン畑で、遠くには双耳峰の筑波山が望めた。次の「藤沢休憩所」も元駅舎で全体の三分の一くらい進んだところ。コースには土浦からの距離表示があり励みになった。

小田城跡と言う公園がありコース上のアクセントになっていた。街並み保存地区「ふれあいの郷北条」を過ぎ、間もなく「筑波山口」到着、お疲れ様でした。

ここから筑波神社まではタクシーに分乗し、ケーブルカー駅の「宮脇」へ。山頂駅までは10分程度で着いた。山頂は遠足の子供たちの歓声がうるさいほどひびいていたが、とにかく空腹を癒す昼食にした。サイクリングは案外とお腹がすくものです。

体力回復したところで、武田さんの案内で男体山山頂へ登ることにした。しかしリーダー役の武田さんが進まない、どうも高所恐怖症らしい。苦労の末やっと山頂から、霞ヶ浦などの大展望を楽しんだ。

再び「筑波山口」へ戻り土浦へ向けてサイクリング開始、心なしかスピードアップしている。追い風のせいもあって順調に土浦到着。駅前の居酒屋では懇親会を行い盛り上がりました。好天気にも恵まれ楽しい活動でした。

以上

